

2021年4月18日 NO.56-16

《開会 午前10時30分》		—礼拝式順序—	
※は一同ご起立下さい。		司式	吉田謙牧師
		奏楽	K姉妹
前 奏			
礼拝への招き	マタイによる福音書 11章28節		
挨拶			
※賛美	詩編歌 24 (1)		
祈 禱			
罪の告白			
静 思			
赦しの宣言			
平和のしるし			—神の招き—
照明の祈り			
聖書朗読	ヨハネによる福音書 5章9節～18節 (新約171頁)		
説 教	「ご覧、あなたは良くなった」		
祈 禱		吉田謙牧師	
静 思			—神の言葉—
※賛美	271B (1)		
※信仰告白	ウエストミンスター小教理問答 問57 (週報裏面)		
※十 戒			
献 金	T姉妹・S姉妹・Y兄弟		
執り成し		吉田謙牧師	
主の祈り	(週報裏面)		—感謝の応答—
※頌 栄	544		
※祝福と派遣	吉田謙牧師		
※アーメン三唱	40-5 (讚美歌21)		
報 告	礼拝当番 S執事・K兄弟		—派 遣—

※体調のすぐれない方は座席についたままで礼拝にご参加ください。

## 《罪の告白と赦し》

### 罪の告白への招き

司式 罪人である私たちを、神様はなお憐れみをもって招いておられます。ですから、今、私たちは、神様の御前に入るにあたって、自らの罪を、へりくだりと信仰をもって、神様に正直に告白いたしましょう。

### 罪の告白

司式 一同で罪の告白をいたします。

一同 憐れみ深い父なる神よ。私たちは告白します。  
私たちは思いと言葉と行いにおいて、  
知らず知らずのうちに、また知っていながら、  
あなたに対して数々の罪を犯しました。  
私たちは心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして  
あなたを愛することができませんでした。  
自分自身のように隣人を愛することができませんでした。  
してはならないことをしてしまい、なすべき業をなすことができず、  
そのために、かえって、うろたえ、  
そのために、かえって、手にすべき喜びさえ失ってきた私たちです。  
どうか、愚かな私たちを憐れんでください。  
キリストの十字架のあがないのゆえに、  
私たちの全ての罪を赦して下さい。

司式 しばらく目を閉じて、一週間の歩みを振り返り、それぞれ犯した罪を思い起こしましょう。そして、その罪を心から悔い改め、その赦しを神様に願い求めたいと思います。しばらく心静まる時間を持ちます。（40秒）

### 赦しの宣言

司式 良き知らせを聞きなさい。「キリスト・イエスは、罪人を救うために世に来られた、という言葉は真実であり、そのまま受け入れるに値します。」（テモテ1:15）。「キリストは十字架にかかって、自らその身にわたしたちの罪を担ってくださいました。」（ペトロ2:24）。それゆえに、私はイエス・キリストの御名によってあなたがたに宣言します。「あなたの罪は赦された」（ルカ5:20）。「安心して行きなさい」（マルコ5:34）。

一同 アーメン。

### 平和のしるし

司式 神がキリストにあって私たちを赦してくださいました。私たちも互いに赦しあいましょう。主イエス・キリストの平和があなたがたと共にありますように。

一同 アーメン。

## 今日の集会

- ◇教会学校(オンライン併用) 9:30~10:15  
 〈司会〉 K先生  
 〈お話〉 U生
- ◇成人学級 10:00~10:20
- ◇奉仕前祈祷会 10:20~

## 《前週統計》

祈祷会・求道者会・教会学校はネット併用で開催

2021/4/11		男性	女性	男児	女児	合計	
集	礼拝	12	21	2	3	38	
	祈祷会	1	3	0	0	4	
	求道者会	1(4)	3(7)	0	0	4(11)	
	オリキッズ	—	—	—	—	—	
会	礼拝の恵み	—	—	—	—	—	
	教	成人科	6	8	—	—	14
		幼稚科	4	6	1(0)	2(0)	3(0)
		小学生	—	—	1(1)	0(0)	1(1)
		中高生	—	—	0(1)	0(0)	0(1)
統	献金	礼拝		32, 150			
	教会学校			2, 500			

## 今週の集会

- ◇祈祷会 4月21日(水) 午前10時30分~ オンライン併用 エレミヤ書の学び
- ◇相談日 4月21日(水) 午後2時~5時 牧師相談日
- ◇求道者会 4月22日(木) 午前10時30分~ オンライン併用 (家庭集会と合流)

## 次週の集会 (4/25)

- ◇教会学校 〈司会〉 Y先生  
 (ネット) 〈お話〉 A神学生
- ◇成人学級 〈担当〉 吉田謙牧師 午前10時~10時20分
- ◇礼拝 〈説教〉 吉田謙牧師「死から命へ」  
 〈聖書〉 ヨハネによる福音書5章19節~26節  
 〈旧約聖書〉 簡易礼拝のため省略  
 〈新約聖書〉 簡易礼拝のため省略  
 〈讃美歌〉 詩編歌 24・532・539  
 〈司式〉 吉田謙牧師 〈奏楽〉 G姉妹  
 〈献金〉 S姉妹・Y兄弟・T姉妹  
 〈礼拝当番〉 S執事・K兄弟

## お知らせ

- ◇4月19日(月)の婦人会有志の掃除奉仕は、コロナ感染拡大のため中止にします。
- ◇イースター献金を募ります。目標額：27万円(教会員は維持献金袋で)。
- ◇まん延防止等重点措置が適用されているため、基礎疾患のある方や公共交通機関を利用して来られる方は、命を守るために極力自宅で礼拝を捧げるようにして下さい。また礼拝に出席するには必ずマスクを着用し、一階でアルコール消毒をして下さい。また密集を避けるため基本的には一つの机に二人ずつ座るようにして下さい(家族は例外)。
- ◇祈祷会・求道者会・教会学校は、オンラインを併用しながらおこないます。  
 その他の諸集会は、当面、休会といたします。
- ◇西部中会諸教会の年報を学習室に置いています。どうぞご覧下さい。
- ◇ラジオ伝道番組「キリストへの時間」(ラジオ関西 558KHz 日曜日午前7時30分~45分)を聞きましょう。4月25日放送予定：常石召一先生(大阪教会)「鍵はどこに」
- ◇掲示板
  - \* 滋賀摂理教会より金原堅二先生の定住伝道者就職の挨拶状が届いています。
  - \* 川島姉同労会ニュース第83号が届いています。
  - \* 西部中会中高生会zoomミーティング「FOR TOU」の案内が届いています。  
 日時：4月23日(金)午後8時~9時 ZOOM ID：366 621 8858

\*全国青年リトリート ONLINE NO.2 の案内が届いています。

日時：5月4日(火)～5日(水) 参加対象：18歳～49歳 「ディスタンスを超えるスタンス」

講師：石原知弘先生(東京恩寵)、柏木貴志先生(岡山)、吉岡契典先生(板宿)、

吉田隆先生(甲子園)、木村恭子先生(川越)、ケン・リー先生(CRCミッション)、

小峯明先生(船橋高根)、福西裕子姉妹(神学校牧会ケアアシスタント)

◇今週の牧師予定

4月22日(木)午後7時～ 関西地区伝道協議会運営委員会(オンライン)

## 4月の祈禱課題

- ①主の受難と復活を覚えて(受難週 3/28-4/3, イースター 4/4)。
- ②神学校のために。
- ③新型コロナウイルス感染症予防のために。
- ④教会学校のために。
- ⑤加入されたMご夫妻のために。
- ⑥昨年加入された方々、受洗された方々を覚えて。
- ⑦闘病中の方々を覚えて。
- ⑧求道者の方々を覚えて。
- ⑨中会のために。
- ⑩川島利子姉妹のために。
- ⑪年間教会標語「教会に生きる喜び」
- ⑫豪雨災害、大阪北部地震、北海道地震、熊本地震、東日本大震災の復興のために。
- ⑬滋賀摂理教会・千里山教会・園田教会・神戸長田教会・恵泉教会・板宿教会・南与力町教会のために。
- ⑭4月生まれの方のために。

## 今月の掃除当番

A姉妹・K姉妹

### 【本日の聖書日課のテーマ】「新しい命」

旧約聖書 列王記上17章17節～24節：エリヤ、少年を生き返らせる  
新約聖書 マタイによる福音書12章38節～42節：ヨナのしるし

ファリサイ派と律法学者たちはイエスに「しるし」を求めました。しるしとは何かしらの保証、あるいは確かさを求めることです。

「よこしまで神に背いた時代の者たち」に語られたこの主イエスの言葉は、私たち自身に語られている言葉でもあります。私たちもしばしば疑いに囚われ、信仰がくじけそうになるからです。そして私たちも、外からくる確かさを求めようとしているのです。しかし自分自身を賭すことなしに保証される信仰などどこにもありません。「信じる」ということは、しるしによらずに、キリストに従うことを決断することです。まして目に見える形での見返りを求めることは私たちの信仰ではありません。神に背を向けていたニネベの人々が、ヨナの語る神の言葉によって生き方を変えたように、またシェバの女王が、みずからソロモンのもとへはるかな旅に出かけたように、「しるし」なしに信じ、従うことが求められているのです。しかし、主イエスは別の意味での「しるし」について語ります。

「ヨナのしるし」が私たちに与えられる。人の子が「三日三晩、大地の中にいる」。すなわち主イエスが死に、そして復活することそのものが「しるし」となり、私たちの信仰の生涯の保証となるのだと主イエスは言うのです。

この世界のどこを探しても、最後まで存続する完全な保証などは与えられません。この地上では、すべてのものに終わりがあり、すべては死にのみこまれてしまうからです。しかし、だからこそ、「キリストが死んで、そして復活した」のです。まさにそのことが、私たちにとっての永遠の保証となります。

私たちは、それぞれの人生の中で多くの愛する人々の生涯の終わりに立ち会い、私たち自身も死と向き合いながら生きています。その人生において、キリストの死と復活という保証が与えられていることは極めて大きな意味をもっています。ここにこそ、私たちは、私たちの最終的な「確かさ」を置くべきなのです。

今日、社会においても、多くの人々が確かさを見いだすことができずに、不安と無気力に襲われ、無意味さに脅かされています。多くの人々が、神も、共同体も、未来も、他者も、そして自分自身も信じられなくなってしまっています。人々は確かさに飢えているのです。私たちはこの「時代」にあって何を語るべきなのでしょう。聖書が語る「確かなこと」をいかに確信を持って語りえるのでしょうか。

# ウエストミンスター小教理問答

- 問57 第四戒は何であるか。
- 答 第四戒は「安息日を心に留め、これを聖別せよ。六日の間働いて、何であれあなたの仕事をし、七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない。あなたも、息子も、娘も、男女の奴隷も、家畜も、あなたの町の間の中に寄留する人々も同様である。六日の間に主は天と地と海とそこにあるすべてのものを造り、七日目に休まれたから、主は安息日を祝福して聖別されたのである」である。世をさばくために来られることにある。

十 戒 わたしは主、あなたの神、あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した神である。

1. あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない。
2. あなたはいかなる像も造ってはならない。
3. あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。
4. 安息日を心に留め、これを聖別せよ。
5. あなたの父母を敬え。
6. 殺してはならない。
7. 姦淫してはならない。
8. 盗んではならない。
9. 隣人に関して偽証してはならない。
10. 隣人の家を欲してはならない。

主の祈り 天にまします我らの父よ、  
ねがわくは、み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らを、こころみにあわせず、悪より救い出したまえ。  
国と力と榮えとは、  
限りなく、なんじのものなればなり。アーメン。